

6.6 老朽原発うごかすな！ 大集会inおおさか

● 集会プログラム

13:00 開会

- ◆司会あいさつ 西村静恵（ヨウ素剤配ってよ@しが 2017）
- ◆主催者あいさつ 中嶋哲演（オール福井反原発連絡会）
- 避難計画の虚構・問題点
 - ◇反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック 山下けいき
- 老朽原発廃炉訴訟
 - ◇老朽原発 40 年廃炉名古屋訴訟市民の会 草地妙子
 - ◇東海第 2 原発の再稼働を止める会 披田信一郎
- 老朽原発の地元から
 - ◇京都府舞鶴市の住民 山本りょうじ
 - ◇びわこ周辺の住民（滋賀県高島市） 是永宙
- ◆原発事故避難者 原発賠償京都訴訟原告団
- ◆カンパのお願い
- 全国から
 - ◇首都圏ほか
 - ◇福島から 放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会 和田央子
- ◆ポテッカーを掲げるアクション
- 関西各地から
 - ◇滋賀/ 千葉県のホットスポットから避難されてきた親子
 - ◇京都/ 若狭の原発を考える会
 - ◇大阪/ 原発ゼロの会・大阪
 - ◇大阪/ ストップ・ザ・もんじゅ
 - ◇兵庫/ さよなら原発神戸アクション
 - ◇奈良/ 原発ゼロ・被災者支援奈良の集い実行委員会
- 労働組合から
 - ◇フォーラム平和・人権・環境
 - ◇全国労働組合総連合（全労連）近畿ブロック
 - ◇おおさかユニオンネットワーク
- ◆集会決議の提案と採択
- ◆「緊急行動に起とう」 木原壮林
- ◆デモの説明
- ◆シュプレヒコール

14:30 閉会

14:30 デモのスタート

●プログラム関係のメッセージ

老朽原発は廃炉へ。連帯でかちとろう！

老朽原発40年廃炉訴訟市民の会共同代表 草地妙子

わたしたちは、老朽原発に出された運転期間延長認可の取り消しを求めて名古屋地裁で闘っています。認可取り消しによって、廃炉にすることが目標です。

本日は、そちらの会場に赴くことができませんが、名古屋ではこの時刻に合わせて連帯の街頭アピールを行っています。名古屋も老朽原発の風下であり、決して無関係ではありません。ええことをしっかり訴えていきたいと思ひます。

まず、原発は膨大な機械の集合体であり、巨大な精密機械だというイメージを持ってもらう必要があります。修理どころか点検すら追いつかず、老朽化は手つかずのままで動かされようとしています。どこでトラブルが起きるか分からず、些細な事象でも大事故につながるリスクが高い。そのことがわたしたちを不安に陥れているのです。しかも、20年先の未来まで稼働しても安全に問題はないとする関電の驕りと、それを鵜呑みにする規制委員会の軽薄さがさらにそれを増幅させています。

本訴訟では、原子炉容器の劣化がもたらす破壊的事故の可能性を強く主張していますが、その劣化について調べた原データを規制委員会が受け取ってすらいなことを明らかにしています。私たちは、まず、この原データを国と関電に出させ、審査のブラックボックス化を許さないと同時に、規制の在り方そのものを問うていきたいと思ひます。そして、福島原発事故後も原発を取り巻く無責任体制は全く変わらずあり続けていることをしっかり理解してもらい、間違っても、裁判官自身がその一翼を担う事が無いように求めています。

最後に、福島原発事故の教訓は私たち自身も活かしていかなければなりません。原発は人々を分断させることによって進められてきたことを思えば、わたしたちは一層繋がりを大切にしていきたいと思ひます。未来に対する重い責任を私たち自身も負っていることを自覚し、共にこの輪を広げていきましょう。

2021年6月6日

6.6老朽原発うごかすな！大阪集会へのメッセージ

東海第二原発の再稼働を止める会 披田 信一郎

4番目の老朽原発である東海第二原発の再稼働を許さないたたかいを続ける茨城県から、関西のそしてすべての原発廃炉をめざす皆さんに、連帯のあいさつを送ります。

東海第二のたたかいでは、先日、「水戸地裁の運転差し止め判決」を勝ち取ることが出来ました。これは大阪地裁による大飯3,4号機の行政訴訟で出された許可無効の判決とも

合わせて、私たちのたたかいが、司法にも、再稼働の危険性と、不当不法に進められていることを、認めさせつつあるものと言えたいと思ひます。

この判決は、事故が起きた際の、実効的な「住民避難の計画・体制」は出来ていない、と正しくも認めました。その判断の上で、「現行法制下において少なくとも」30km圏内の

原告については「住民の人格権侵害の具体的な危険があるとみとめられる」として、「人格権に基づく妨害予防請求として、原子炉の運転の差止めを求める」住民の主張を認めたものです。

規制委員会の審査の対象となっている4層までについては、「適合性判断の過程に看過しがたい過誤、欠落があるとまでは認められない」として、いっけんお墨付きを与えたかのようにもとられていますが、その実、原発は危険なものであり、「他の科学技術の利用に伴う事故とは質的に異なる」と言い、福島第一原発事故の被害を踏まえて、結局、現行の原子力規制法体系の外にある5層の避難計画などを裁判所として判断するとして、住民原告勝訴の判決を下しました。

被告・日本原電は即時控訴し、私たちからの控訴とともに、今後、東京高裁でたたかいが続きます。認められなかった4層までの地震動や耐震性の問題、原子炉火災の危険をもたらす非難燃性ケーブルの温存問題など、引き続き追及を続け、「差止めを認めた勝訴判決」を控訴審でも認めさせ、日本原電、原子

力村、電力村、国の再稼働推進・原発温存政策を断念させようと決意しています。

一方では、来年12月を再稼働予定としつつ、それまでに「地元同意」を取り付けていくという動きが、まずは、東海村議会への「推進請願」提出として動きだし始めました。

客観的には、判決も指摘した「実効的な30km圏内94万人の避難計画とそれを支える体制の確保」など不可能に近いのですが、「避難計画を急げ。避難計画が出来ていないことは違法ではないか」という国会質問まで日立社員でもある地元議員からなされました。

さらに「気候変動で異常災害も起きている中、温暖化対策としての原発再稼働が必要だ」という理屈で、菅政権の温暖化対策、「第6次エネルギー基本計画」改定でも原発を温存させようとする推進派との攻防が、今、問われています。

老朽原発うごかすな！を合言葉に、40年越えの美浜3号機の来月再稼働を許さず、各地の運動をつないで共にたたかい抜く決意を込めて、あいさつとします。

以上

原発賠償京都府公害原告団からのメッセージ

共同代表 萩原 ゆきみ

原発事故のあったあの日からずっとずっと、こうして御心をお寄せ下さった皆様に、勇気付けられ生きてくる事が出来ました。心から感謝の意を表させていただきます！

私たちは、あの日、あの時の恐怖を忘れません。逃げたくても直ぐに逃げられなかった恐怖。原発が爆発して放射性物質がアチコチにばら撒かれたのに、子ども達がマスクを着け続けてくれなかった時の恐怖。子どもが手に付いた土を舂めてしまった時、子どもが転んでしまった時の恐怖。まな板にのった野菜を切る時、料理する時、水道水を使う時の恐怖。スーパーで食材を買いだすのに安全と思える食材を見つけられない、買えない、食べる時

の恐怖。窓を開ける、外に出る時の恐怖。「1階よりも寝室のある2階の部屋の方が放射線量が高い」と知った時の恐怖。

政府交渉に行ってもお役人でさえ、真実を知らない。「誰も守ってくれない」と知った時。「自分1人しか我が子を守る者はいないのだ」と、思い知った時の絶望と恐怖。

隣近所に「避難する」と挨拶をした時に、その方に泣かれて、何も言えなかった時の、辛さ、悲しみ、後悔。

「避難してきた」と言えなかった苦しみ。せつなさ。

同じ京都市民で、年齢、年収が同じだったとしても、元からの京都在住者に比べ、私達、

避難者の経済は苦しいのです。何故なら今まで積み重ねてきた殆ど全てのものを失ってしまったから。

1度被ばくした人々がどのような思いで、その後の人生を送るのか想像していただけるでしょうか？子どもたちの未来を、子孫達の未来をどのような気持ちで憂いているのか、想像出来るでしょうか？多くの人々は、それこそ筆舌に尽くしがたい思いでいるのです。

年齢とともに使われる頻度が高まる医療保険を生活が苦しくて解約する。将来を憂いて高い医療保険に入り生活が圧迫される。

私は福島では築8年の100年住宅に住んでいて、曾孫の代まで幸せに暮らせるはずでした。あと数年で住宅ローンも終わるはずでした。

それなのに、京都では築40年の雨漏りのする家に住んでいます。月々の支払いが賃貸と余り変わらないからと、中古住宅を購入しましたが、夫が75才まで住宅ローンが続きます。

日本中の多くの人々が老後に色々な意味で不安を抱えています。その気持ちの何倍も原発事故被害者と自覚している人々は不安なのです。

その他にも数え切れない程の辛さと悲しみと、もどかしさを抱えて私たちは生きてきました。

それらは、今でも継続中、又は思い出すと辛くて辛くて、悲しくて、哀しくて、10年以上経っても胸は苦しく、涙が溢れてきます。多くの方は、何年経とうと、その苦しみが未だ癒える事はありません。

島原発では「事故は絶対起こらない」と言っていたのに、事故が起きました。今までも世界中で大なり小なり沢山の事故がありました。それなのに「日本ではもう事故は起こらない」と言えるワケがありません。

何十年とかけて培ってきた財産、人脈、キャリア、仕事、家族の思い出の数々、全ての物を捨てて逃げられますか？福島では東北地方、関東地方を中心に汚染されました。西日本で原発事故があったら、逃げる所はあるで

しょうか？

避難計画さえまなならないのに、次に原発事故が起こったら国は国民を守ってくれるでしょうか？

琵琶湖の水が汚染されたら、その汚染された水で生活し、赤ちゃんや子どもたちの世話をしなくてはなりません。私達の心身は蝕まれてしまいます。

福島原発事故では、御存知の通り被害は矮小化されました。

隣の家が補償されているのに、自分の家が補償されないなんて、耐えられますか？住民の誰もが悪いワケではないのに分断されてしまうのです。

そしてイザ裁判になると「相対的安全があれば良いのだから」と問題がすり替えられ、責任逃れをされてしまう。

復興したかのようにイベントが過剰に実施され、復興五輪と問題がすり替えられました。

今までも大なり小なり世界中で数え切れない程の原発事故が起こり、核兵器が使われて、その影響は人間だけでなく生きとし生けるもの全てに及びます。この地球に住む人間だけが他の生き物を蔑ろにして良いわけがありません。その罪は私達、人間に必ず返ってきます。

人間の手に負えない原発は1日も早く廃炉にするべきです。

原発事故の被害者となった私たちの存在は、これまでに支援者の皆様とともに世界に大きな波紋となって大なり小なり影響を与えてきました。

そうです！脱原発を望む皆さん、私達の在り方が、世界のあり方に影響を与えてきました。これからも、その流れがより一層大きくなっていくことを心から望みます。

原告の1人が2017年に国連人権理事会の普遍的定期的審査プレセッションで、福島原発事故被害者に対する人権侵害が現在も続いていることを訴えました。

*結果、4カ国から勧告が出され、国は「受け入れます」と言ったにもかかわらず、真逆

の政策を続けています。*

そこで原告団では『国際社会から見た福島第一原発事故』国際人権法・国連勧告をめぐって私たちにできること」という希望の冊子を出版いたしました。

脱原発世界を望む人々の、被害者の、勇気の出る、希望の1冊となるでしょう！発売僅か数日でほぼ完売。オンラインでご購入いただけます。

*この本について、原告共同代表の福島敦

子さんのメッセージを記します。

世界最大級の公害事件を引き起こしてしまった日本国と東京電力に対し世界からも様々な形で熱い視線を向けられていること私達原発事故の被害者は決して孤立しているわけではないことをこの本を通して伝えられたら幸いです。世界中の人々が見守ってくれています。原発事故を1日でも早く収束できるよう連帯し声を届けていけたらと願っています。*

(2021年5月31日到着分まで)

● 全国で脱原発を闘う仲間からの メッセージ

美浜原発現地から反原発を訴える

美浜町在住 松下 照幸

原発に不信を抱き始めてから丁度 50 年になります。当初は情報も知識も無く、「いい加減な反原発」であったと言えますが、「都市部で使う電気を何でこの地に？」という素朴な思いがありました。運転が始まると、原発で働く人たちの厳しい被曝状況が聞こえるようになりました。美浜原発 1 号機が、運転早々、燃料棒折損事故を起こし、事故の深刻さ故に、事故そのものが消されました。後年に暴露されましたが、とんでもない話です。

原発は、技術的な危険と、それを扱う組織の危険の両面を持っています。地域に住む関電社員の一人一人と話すと、いい奴が多いと感じますが、組織となると全く別です。大飯 3 号機のひび割れ放置運転画策を知るにつけ、関電という組織の恐ろしさを実感します。安全に徹する組織であるなら、ひび割れを修理せずに運転を強行することなどあり得ない話です。規制官庁が安全を最優先するなら、原発などはずっと以前に放棄されたでしょう。最大の問題は、「利権に絡まれた組織」の危

険性にあると私は考えています。関電の金品授受問題は、その実態をよく示しています。

福島原発事故という、大変な被害をもたらした事故を経験してなお、原発を止めようとしない政府や立地自治体。その美浜町では、「原発があることへの不安、無くなることへの不安」に揺れ動いています。私自身は、原発が無くなることを見据えて、地域でいかに雇用を創るかの提案を続けています。かつてはとても集まってはくれなかったと思われる地域の優秀な方が、私とつながり、関電幹部であった高校時代のクラスメートなども、私と一緒に山菜花木生産組合を担ってくれています。

老朽化した原発は、40 年を超えて運転を行えば、必ず深刻なトラブルや事故を起こします。そうならないために、地域に根を張り、その根で、都市部の人たちと繋がる活動を目指しています。高齢となり、体力も脳力も劣化しましたが、命ある限り、脱原発を美浜町で全うしたいと考えています。

あいさつ

高浜町 渡邊 孝

「大集会」に結集されたみなさんご苦労様です。高浜原発の地元から連帯のごあいさつを申し上げます。

国と関西電力は強権的に高浜 1・2 号機と美浜 3 号機の老朽原発を動かそうとしています。10 年前の福島事故から何も学ぼうとはしません。

立地自治体(福井県、高浜町、美浜町)の責任は重大です。住民の生命、財産を守るのが

政治の責任ではありませんか。仮に、重大事故が起きれば責任の取りようがないことは福島事故が教えています。原子力規制委員会が安全を保障しているといいますが、規制委員会は自ら作った新規制基準に適合しているかを審査しているにすぎず、新規制基準が安全性を補償するものでないことは田中俊一前規制委員長が繰り返し吐露しています。

ましてや交付金をその代償にちらつかせる

など言語道断です。

再稼働を認めたとはいえ、立地自治体の責任者は自らの頭で考えて行動すべきです。「規制委員会の審査は世界一厳しい」、「国策に協力」などとのんきなことを言っている場合ではありません。現に福島原発事故は現実となっているのです。そうであれば安全側に判断を下すのが住民に責任を負う立場ではありませんか。再稼働を認めるべきではありません。考え直すべきです。

日本列島は地震の活動期に入ったといわれる今日、不気味なほど頻繁に地震が発生しています。原子炉建屋のみではなく、設備、装

置など発電所全体として地震動に耐えられるのか、きわめて疑問です。実効性のない避難計画、さらに深刻さを深める核のゴミ問題など、原発廃炉は急務です。

電気は必要ですが、原発が重大事故を起こせば社会が壊滅します。そのような危険な発電方式ではなく、文字どおり安全な自然エネルギーの本格的な導入に切り替えるべきです。

皆さんとともに、一日も早い全原発廃炉まで粘り強くたたかっていきたいと思えます。頑張りましょう。

「老朽原発動かすな！大集会inおおさか」へのアピール

北海道 後志（しりべし）原発とエネルギーを考える会 佐藤 英行

厳しいコロナ禍の中で、老朽原発の再稼働を止めるため、本集会の成功に向けて準備されてきた皆さんに敬意と連帯の意を表します。

北海道電力泊原発は、関西電力と同じ加圧水型原子炉で、現在プルサーマルを計画している3号機が原子力規制委員会の新規制基準適合審査を受けている。構内にある断層、海底活断層の審査、それによる基準地震動、基準津波の設定、防潮堤のやり直し、防波堤の強化工事、安全補強工事、特重施設、これらすべて審査も設定も工事もまだまだです。

原子カムラは、破綻しているにもかかわらず、核燃料サイクルの最終段階である高レベル放射性廃棄物いわゆる核ゴミ最終処分場建設に向けた文献調査を、北海道寿都（すつ）町、神恵内（かもえない）村に仕掛けてきた。寿都町は島牧（しままき）村、黒松内（くろまつない）町、蘭越（らんこし）町と、神恵内村は積丹（しゃこたん）町、古平（ふるびら）町、泊（とまり）村と接している。島牧村と黒松内町は寿都町が文献調査受け入

れ発表後、核ゴミ受け入れ拒否条例を制定し、積丹町も拒否条例を議決した。また、古平町と蘭越町の議会は、核ゴミ拒否意見書を採択した。NUMO（ニューモ）を包囲する闘いである。のこりは泊原発を有する泊村だけである。

10月に執行される寿都町長選に核ゴミ処分場に応募した現職に抗し、核ゴミ拒否陣営から町長選に立候補することを表明した。私たちは、決して負けるわけにはいかない。核ゴミ最終処分場計画を許してはならない。

政府、原子カムラは2050年を目標として温室排出ガス排出ゼロをうたっているカーボンニュートラル計画を金科玉条に持ち上げ、運転中はCO₂を出さないと詭弁を弄して原発再稼働を進めようとしている。

老朽原発高浜原発1・2号機、美浜原発3号機を再稼働させない闘いとともに、北の地でも泊原発再稼働させない、核ゴミ最終処分場をつくらせない闘いを続けていくことを表明して、本集会へのアピールとします。

2021年6月6

阻止しよう！40年超運転 止めよう！原発・核燃

なくそう原発・核燃、あおりネットワーク 事務局次長 中道雅史

「原則 40 年、最長で延長 20 年ルール」ができてから初めての、かつ全国の原発 60 年運転への道を開く、またそれ自体全く理不尽な今回の美浜原発 3 号機の再稼働は、到底許されるものではありません。この上ない怒りをもって弾劾します。絶対阻止しましょう。そして、このまま最終処分地になりかねない青森にとって、使用済み核燃料、核のゴミを増やし続ける原発再稼働などでの外だということ声を大にして訴えたいと思います。

青森の再処理工場は、現在「設工認」申請中で審査が行われています。完工は 2022 年上半期とアナウンスされています。この再処理工場は、運転期間 40 年とされてきました。私たち県民はそう認識していました。全国の方々もそうでしょう。ところが昨年来、国は、経産省は操業開始から 40 年で運転終了ではないという趣旨のことを言い始めています。日本原燃も同様の発言です。

アクティブ試験からでも、もう 13 年以上が経っています。おびただしい長さの配管(放

射性物質が含まれる部分は 60km、総延長約 1500km とも言われています)、配管の継ぎ目 40 万箇所、1 万基の主要機器。それらは老朽化が進んでいて、腐食、減肉、金属疲労などが心配です。安全な施設とは、とても言えません。この施設を完工後、いろんな理屈をつけて 40 年以上にわたって運転させるなど論外ではありませんか。

今回の美浜原発 3 号機の再稼働は、冒頭に書いた「全国の原発 60 年運転への道を開く」とともに、再処理工場の 40 年超運転への先駆けであるとも考えます。これらの動きは明らかに連動しています。もちろん、私たちは再処理工場の完工、本格操業を絶対許さない闘いを続けます。同時に若狭の老朽原発再稼働反対の闘いと密接につながる必要性を再確認します。

青森は、自分たちの闘いとして、老朽原発うごかすな！の意思を明らかにしていきます。ともに頑張りましょう。

東北電力に対する差し止め訴訟はじまる 全国の裁判に続こう

みやぎ脱原発・風の会 館脇章宏

5 月 28 日、石巻市の住民が、東北電力に対し女川原発 2 号機再稼働の差し止めを求める訴えを仙台地裁に起こした。避難計画に絞った差し止め訴訟は全国で初めてだという。これは宮城県と石巻市を相手取っておこした仮処分が昨年「却下」されたことをうけてのものだ。訴状では「女川原発について現在策定されている避難計画（注：半径 30 キロ圏の石巻市など 7 市町の約 20 万人が宮城県内 31 市町村に移動）は、実効性に欠けており、避難計画が存在することで避難者を窮地に追い込むことすらありうるもので、第 5 層の防

護措置としては不適合であり、このような状態では原子力発電所を運転してはならない」としている。東北電力を相手にする裁判は震災後初めてだが、東海第二や大飯原発における判決など、全国の裁判勝利に続くよう、全国あげて支えていきたい。

一方で今年に入っても大きな地震が続いている。2 月 13 日、3 月 20 日、そして 5 月 1 日と立て続けに最大震度 5 強以上の地震が発生。とくに 3 月の地震の震源地は、まさに女川原発のある牡鹿半島のすぐそばだった。いつまでそのたびにびくびくしなければならな

のか？

また、福島第一原発と同じBWR（沸騰水型）マークⅠである女川原発が致命的に抱える構造的欠陥に改めて焦点をあて、4月18日に田中三彦・後藤政志の両氏を講師にオンラインシンポジウムが開催され、200名以上が参加した。田中さんの結論は、「原子炉圧力容器の主フランジや、圧力容器を出入りする

重要配管（たとえば主蒸気配管）は、炉心が溶融しているような異常高温下ではたして構造や機能を維持できるかどうか、きわめて疑わしい」というものだった。

関電などのPWRでも「蒸気発生器での配管損傷」が怖いとの指摘があるが、それぞれの型が固有の問題を抱え、リスクが大きすぎる原発は動かしてはならない。

東海第二原発は再稼働させません

阿部 功志（あべ・こうし、茨城県 東海村議会議員）

皆さん、コロナ禍の中、命をかけて集まるなんて無謀です。早く帰ってください。

でもそうするまでに皆さんは追い詰められているということなのですね。どうか感染を広めないよう、くれぐれもお気をつけください。

きょうは東海第二原発の裁判を中心にお伝えします。

ご承知のように3月18日、東海第二の差し止め訴訟で、水戸地裁は、「再稼働をしてはならない」という判決を出しました。主な理由は、「実現可能な避難計画」と「それを実行しうる体制」が整わないことをあげています。深層防護という5段階の安全対策の最後のレベルが全然なっていないからダメだよ、というわけです。

この判断は、国や電力会社に有利な技術論には近づかず、事故の時どうやって逃げられやしない、というごく常識的な考えに基

づくものです。住民の思いを受け止め、住民側に立っており、そして全国の原発にもあてはまるものだと思います。

住民が自治体や電力会社にデモや抗議をするのもいいでしょう。ただそれだけでは「うっせえ奴らだ」と嫌われて終わってしまいます。ですからそればかりでなく、たとえば避難計画の問題点などを一つ一つ取り上げて質問をぶつけ、言質を取って追及していく、といった地道な取り組みも大事かと思っています。

こちらでは、原子力所在地域首長懇談会に属する東海村と周辺5市、また茨城県に対して何度も要請と質問、問題点に対するレクチャーなどを進めています。担当者とけんかして関係を悪くするより、何が問題なのかを共に明らかにしていく作業なども大事なのでは、と考えております。

相手は巨大で手ごわいでしょうが、ご健闘をお祈りします。輿論を味方につけましょう。

柏崎・刈羽原発の現地からの報告

柏崎・刈羽原発絶対反対地元住民有志代表 近藤 容人

東京電力は柏崎刈羽原子力発電所の7号機の安全対策工事が終了したとして、住民説明会を1月25日より県内5カ所で開催した。

いずれの会場においても、安全対策工事の説明の前に、新潟本部所長が昨年9月、原子

炉運転員が他人のIDカードを不正使用して、中央制御室に入室したことの謝罪から始まった。

参加者からは、東京電力にたいして「隠蔽体質には呆れる、運転する資格はない」「何

故今になって、公表し謝罪するのか」「福島事故被害者に対する補償が充分に行われていないのに、何故再稼働か」などの厳しい意見があった。

刈羽村の説明会では「7号機の火災の消防防火設備工事の未完了」が報告された。

また、「ベントにつながるダンパーが工事未了」と初めて説明され、住民の安全を無視する東京電力の姿勢が明らかになった。

原子力規制庁の姿勢に対しての非難もあった。

その後も、協力企業作業員が侵入感知設備の破損、核防護のための安全監視装置（監視カメラ）が3年間破損されたまま放置にされ、代替え措置を行っているので問題がないと、原子力規制庁に報告していたことも判明した。

柏崎刈羽原子力規制庁事務所職員が抜き打ち検査したところ、「核防護体制が非常にお粗末だった」ことが判明した。

再稼働容認の櫻井市長でさえも「長い年月かかたものが、リセットされた」、自民党県会議員も「1年間は再稼働できない」と発言している。

更田原子力規制委員会委員長は「検査に2000時間（約1年）はかかる」「核物質防衛に関わる報告がされなかったが、規制委員会がなめられている」と発言している。

柏崎市議員原発推進派は、国に対して「原発の利用活用の明記」「避難計画実現のため

の財源措置をすること」「必要性を地元住民に説明すること」「核サイクル帰結への意思の明記」を求める要望書が決議され、原発再稼働に向けて準備を進めている。東電は6号機再稼働に向けての安全対策工事を進めている。

東電の不祥事、安全文化の欠如は規制庁、原発推進の地元市長や知事、自民党県議さえ原発を招き、当面再稼働の議論に入る余地はない。

しかし、菅のカーボンニュートラル発言ももとでも、ベースロード電源としての原発の位置づけは少しも変わっていない。そして、今は慎重姿勢を示している花角知事も櫻井市長も自民党県議も、推進派としての本質が変わったわけではない。地元住民の生命と暮らしより、利潤第一の資本家階級の本質を露にしている。

「花角知事は原発再稼働の是非を決める際には、公約を守りわたしたち県民の声をしっかり聞いてください」と「柏崎刈羽原発の設置許可取り消しを求める」二つの署名が行われている。

柏崎刈羽原発のこれまでの不祥事からの東京電力には原発を動かす資格はない、原発には未来はない。東京電力は解体すべきだ。

柏崎・刈羽現地でも、反原発の運動を進め、廃炉まで闘っていく決意です。

6/6 老朽原発動かすな！大集会 in おおさかの成功を期待します。

6.6 「老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」への連帯メッセージ

志賀原発に反対する「命のネットワーク」 藤岡 彰弘

関西電力美浜3号機、および高浜1.2号機の再稼働強行に抗議し、若狭の原発をすべて即時廃炉にするよう、この集會に集まった皆さんと共に強く求めます。

老朽原発を動かすことの危険性は、もはや言うまでもありません。電気はすでに余りに余っており、住民の意志を押しつぶしてまで

動かす必要などどこにもありません。

それを政府も、関電も充分承知しているからこそ、先日来、この夏は電力需給が逼迫しそうだなどというインチキキャンペーンに躍起になっているのです。

脱炭素化のために廃止される火力発電所が出てくるからなどという、もっともらしい理

由をあげていますが、具体的にどこの火発がいつ止まるとは言ってないのです。だいたい需給ひっ迫の根拠としてあげられている、この8月の供給予備率の数字が、関電、東電、中電、北電とそろって同じ3・8%というのはいったいどういうことでしょう。

個々の電力会社の事情によって規定されるはずの予備率が、なぜ同じになってしまうのか？、明らかに経産省の主導で足並みを揃え、何が何でも原発再稼働を強行しようと脅しをかけているのです。

こんなことがまかり通るのも、電力の発電実績や供給の実態が巧みに隠されていることに大きな要因があります。

その地域に必要な電気はどのようにして発電され、供給されるべきものか、それは本来、その地域の住民が主体となって決めていくことではないでしょうか？

若狭の電気のことは若狭の住民が、能登の電気のことは能登の住民が決めていく。そんな当たり前のことが、本当に当たり前となっていく、そんな日を目指して共に進んでいきたいと思います。

老朽原発の再稼働を決して許さない！すべての原発を今すぐ廃炉に！

若狭の皆さんと、この集会に参加された皆さんに連帯します。

6・6「老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」への連帯メッセージ

さよなら原発・ぎふ 代表・伊藤久司

私たちは、2011年6月11日から、3ヶ月に一度「さよなら原発パレード in ぎふ」を続けている「さよなら原発・ぎふ」です。6・6「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」にご参加の皆さまへ、熱い連帯のメッセージを送ります。

岐阜県には原発はなく、関西電力からの電力供給を受けていません。しかし、もし若狭の原発に大事故が起これば、年間を通じて吹く北西の風によって、大変な汚染に曝される「被害地元」です。

2012年3月3日に、私たち「さよなら原発・ぎふ」が、美浜原発のすぐ前の水晶浜から行った「風船飛ばし実験」でも、拾われた1割の風船の84%は岐阜県内でした。

同じ年の9月、岐阜県は「敦賀原発事故想定時の放射性物質拡散シミュレーション結果」を公表しました。仮に敦賀原発（注：美浜原発に近い）の過酷事故で、福島第1原発に匹敵する放射性物質が放出されたら、とい

う想定での試算です。気象条件などが最も悪いケースでは、大垣市の中心部では年間110mSvという値が出ています。大垣市を含む西濃地域住民の9割以上、そして県庁所在地・岐阜市とその周辺住民の過半数が20mSv～100mSvという汚染に曝されるという衝撃的なシミュレーション結果です。

しかし、このことを、県民の多くは知りません。具体的な住民避難計画もありません。何の備えもないまま、私たち岐阜県民は、今まさに美浜3号機の再稼働という危険に直面させられようとしています。

どの原発も安全ではありませんが、とりわけ老朽原発は事故のリスクが格段に高まります。美浜老朽原発の再稼働は、絶対に容認することはできません。私たちは、岐阜の地から、「老朽原発うごかすな！」の声を大きく上げていきたいと思います。

2021年6月6日

6・6「老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」への連帯メッセージ

浜岡原発を考える静岡ネットワーク（鈴木卓馬）

不良電力会社・関西電力の住民を犠牲にしての金儲け主義に大きな憤りを感じます。餌をバラマキ、その還流で優雅な生活を送りながら、すべての犠牲を消費者に押しつけ、屁理屈を唱え、老朽原発の稼働を推進するなど許せるものではありません。

不良電力関電からの餌をこれまた屁理屈を唱えながら受け取り、老朽原発再稼働に同意する輩も同様に糾弾されるべきものです。今まで電力を消費地へ送ることで、鼻を高くし恩を売っていた原発立地の議会と首長は、老

朽原発の事故が発生したならばどう言い訳するのでしょうか。

原発過酷事故は、相手を選びません。すべての生き物を亡き者にしてしまいます。電力供給地の市民も、消費地の市民も一体となって「老朽原発動かすな」に結集し、稼働阻止を勝ち取りましょう。

浜岡原発を所有する中部電力も40年越えの運転を視野に入れながら計画を進めています。全国の反・脱原発運動をつなげ不良電力会社の野望をすべて阻止しましょう。

老朽原発動かすな！島根からも絶対反対！

さよなら島根原発ネットワーク 芦原 康江

4月末、福井県知事が40年を超過する関西電力の3基の原発の再稼働の同意したことに、強く抗議します。福島原発事故後、原則40年の運転期間と定められてきたものをなし崩し的に稼働させようとするのは、住民を巻き添えにする実験であり、容認することはできません。

そもそも、特重施設の完成が期限に間に合わない中、美浜3号は3か月後には停止せざるを得ないような状態であり、何がなんでも原発を稼働させるのだという関西電力の強硬姿勢は、理解不能なものです。住民を諦めさせようとしているのかもしれませんが、民意は、ますます「原発再稼働反対」の意思を強固にするでしょう。関西電力が60年運転をめざすことは、他原発の行く末にも影響します。これは、私たち島根の住民にとっても大問題であり、皆様に連帯し、反対の声を高めていきたいと思えます。

現在、島根原発2号機は適合性審査がほぼ

終了し、数カ月の内に「審査書」案がまとめられようとしています。中国電力は、島根原発からわずか2km先に存在する「宍道断層」を39kmに見直したものの、その先に連なる鳥取沖断層との連続性を否定し、さらに地震動評価を過小評価することで耐震安全性をごまかしてきました。それを見過ごしてきた規制委ともども、原発の危険性に目を瞑り、住民の安全を真剣に守ろうとしていないことに、強い憤りを覚えます。

この島根原発2号機は32年の運転期間を過ぎていますが、エネルギー基本計画に囚われた中国電力は、再稼働後には60年運転に踏み切るであろうと思われまふ。私たちは、皆様とともに、島根の原発再稼働はもちろん、60年運転など絶対にさせないよう、全力で止めていきたいと思えます。共に頑張りましょう。

2021年6月6日

連帯メッセージ

老朽原発うごかすな！新規原発作るな！核の被害の無い世界を共に作ろう！

上関原発を建てさせない山口県民連絡会

6・6「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」に結集された皆様に、心からの激励と連帯の気持ちを送ります。

今年3月、山口の地でも県内7カ所で反原発の取り組みを行いました。老朽原発うごかすな！実行委員会の皆様から連帯メッセージとネットパレードへのご協力を頂きありがとうございます。山口県内では東京電力福島第一原発事故後、もう原発はあり得ないという想いを持った人がたくさんいます。しかし、関心が薄くなっているのも事実です。

そのような状況を見据えたかのように、菅政権は2050年カーボンニュートラルを掲げ、原子力政策の維持を図り、原発を再稼働させ、新規原発建設への道を開こうとしています。中国電力の清水社長は原発を「確立した脱炭素電源」と言いなし、新設を目論む上関原発を「非常に重要で有効に活用する」と

も述べています。しかも中国電力は上関原発建設のための埋立て工事に伴う海上ボーリング調査の申請をまた山口県に提出しました。

断じて許せません。

私たちは、皆様方がコロナ禍にありながらも、地元住民と結びついてアマーバデモをはじめ、「老朽原発うごかすな！リレーデモ」など創意工夫した闘いをされていることに学んでいます。

私たちも創意工夫し、いろんな場所で政府も電力会社も原発を諦めていないということを発信し、原発の再稼働を許さず、新規原発として目論まれている上関原発建設計画を白紙撤回させていきたいと思っています。

共に、原発ゼロの世界の実現に向けて、頑張りましょう！

2021年6月6日

全原発廃炉！！老朽原発動かすな！！

伊方から原発をなくす会 名出 真一

原発全廃に向けて闘っておられる関西、福井の反原発運動に連帯のメッセージを送ります。

政府の無策、無能によって被害が拡大するばかりのコロナ下においても運動を止めるどころか、拡大されている関西・福井の方々への行動に私たちも励まされています。

40年を超えるオンボロ原発を動かそうとする関西電力も絶対に許せませんが、「規制委」とは名ばかりの原発推進委員会、核廃棄物についての約束が反故にされたままにも関わらず、国から50億という具体的金額が出た途端に再稼働に同意する福井県には怒りより情けなくなります。かつて伊方原発3号機

建設計画が出たときには、四電と伊方町で交わされていた「原子炉総数は2機（1機の出力は56万キロワット）まで。」という協定は簡単に反故にされました。3号機に関しては四電元会長が「田舎の町長は嘘をついて金をくれ」と言って問題になりましたが、平気で嘘をつくのは電力会社も同じです。

昨年12月には大飯原発設置許可取り消しの画期的な判決が大阪地裁で出ました。耐震性を巡って出た判決でした。広島地裁で現在闘われている仮処分では、伊方3号機について四電は「南海トラフ地震が伊方原発直下で起こっても、地震動は181ガル」と主張しています。そしてこれで規制委員会の審査に通

っているのです。電力会社、政府が一体となって出鱈目を繰り返して、原発利権を漁ろうとしています。このデタラメの犠牲になるのはまっぴらです。

福島原発事故の被害者の方々が「いない人」にされようとしています。まさに電力資本と政府が原発利権に固執するための「不都合な真実」なのではないでしょうか。「トリチウ

ムは安全」「事故は終わった」としなければ原発を動かすことはできません。私たちが原発再稼働を許していけば、福島原発犠牲者の方々はますます切り捨てられていきます。人の犠牲の上でしか成立しないエネルギーは必要ありません。伊方でも再稼働阻止のために8月28日現地集会を行います。「命」のために闘いましょう！！

原発のない社会の実現に向けて闘う

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 代表 石丸初美

この11年間全国のみなさんの支えで4件の裁判に挑んだ。①2010年MOX燃料使用差止提訴（控訴：不当判決・終）、②2011年玄海2・3・4号機運転差止仮処分申立（抗告：不当決定・終）、③2011年12月玄海3・4号機全基差止提訴、④2013年行政訴訟「3・4号機運転停止命令義務付」。3・11はMOX裁判の第2回公判当日だった。本年3月12日、③玄海3・4号機運転差止（九電）と④行政訴訟（国）の2件に佐賀地裁は同日判決を出した。判決文は「規制委の審査は専門家の検討を踏まえて合理的」として国の審査・判断に不合理な点があるとは認められないというものだ。直後の記者会見で弁護団から「論点の具体的なものに入らず、形式的なことだけ言っている。これほど酷い判決はない」と報告された。「誰のための司法か」と司法への不信感と憤りは拭えない。私たちは、同3月25日福岡高裁に控訴手続きを終えた。

東電の事故で原発の持つ放射能被害の恐ろしさを学んだ。何の罪もない住民の暮らしを突然奪い、被害住民を非道な政策で切り捨てる。権力者の横暴さが明らかになった事故対応だ。九電や政治家の「誠意を持って・・・」

ということばがまさに白々しい。それでも規制委は次々と再稼働を許可している。核燃料サイクルにしがみつ、無責任にも何万年の未来にまで核のごみの後始末を押しつける原発政策は、一日も早く見切りをつけるべきだ。命を何より大切に思うなら再稼働などあり得ない。3・11から10年、原発9基（うち九電は玄海3・4号機、川内1・2号機）を再稼働させた。原発を動かせば必ず使用済み核燃料は発生する。九電は、使用済み核燃料は六ヶ所再処理工場に搬出するとしている。しかし、同工場は2020年8月、25回目の「完成延期」となり、稼働する見込みはない。加えて、玄海3号機は2020年11月猛毒の使用済みMOX燃料16体が発生した。伊方原発、高浜原発に続き、国内3例目だ。九電は、行き場も処理・処分方法も何も決まっていない使用済みMOX燃料を、当面の間プールに保管すると繰り返す。玄海の燃料プールはあと数年で満杯だ。九電は、原発敷地内で一時保管する乾式貯蔵施設工事（2027年開始を目指す）と、使用済み核燃料の貯蔵容量を増やすラッキング工事（2024年完了を目指す）を現在同時に進めている。

メッセージ

ストップ川内原発! 3.11鹿児島実行委員会 事務局長 杉原洋

九州電力が4月28日、川内原発1・2号機について「運転延長の可否を判断するための特別点検を検討したい」と表明した。

九電社長は「運転延長についてまだ何も決めていない」と誤魔化したが、特別検査は運転延長申請に必要なもの（実用炉規則113条）であり、九電が、関電・日本原電に続いて、老朽原発の運転に乗り出したことは明白だ。

九電が表明したこの日は、福井県知事が関電老朽3原発の再稼働に同意したまさにその日であり、電力業界全体の「40年超運転を『当たり前』にしたい」という意思表示だろう。脱原発を目指す私たちへの露骨な兆戦にほかならない。

菅政権は「2050年に温室効果ガス排出ゼロ」をぶち上げ、「脱炭素」「グリーン成長戦略」がもてはやされている。それらの言葉は、原発温存・新增設、小型炉開発の隠れ蓑だ。

原発は運転中にはCO2は出さないだろう。

しかし、放射能は出し続けている。熱出力の3分の2は廃熱として深刻な熱汚染をもたらす。

使用済み核燃料をどうする？ 川内原発ではあと10年足らずで核燃プール満杯だ。20年延長が本当にできる？ 再処理を続けるなら最終処分場はどうする？ とうに行き詰っているではないか。

九電は、日本で唯一再エネ電力の「出力抑制」を続ける電力企業だ。去年は計60回、6982万kWの再エネを制御した。1回116万kWと、玄海原発3・4号機の電気出力に匹敵する再エネを妨害した。何が「脱炭素」だ!

いま日本の原発の発電量は6%。再エネの3分の1だ。いのちと暮らしを脅かし、子どもたちの未来を危険にさらす原発にサヨナラしよう。

若狭湾岸の老朽原発の再稼働を許さないぞ!

その闘いは川内原発の20年延長を阻む大きな力だ。共に闘おう!

(2021年5月31日到着分まで)

●本集会に連帯する行動

◆オール福井反原発連絡会によるスタンディング

と き：6月6日（日）13：00～14：00

ところ：福井駅前

◆オール福井反原発連絡会による美浜原発3号機再稼働反対運動

- | | |
|--|--|
| <p>(1)街頭宣伝…6月13日(日)、街宣車により老朽炉問題を訴え。翌日に行う新聞折込チラシの前ぶれ活動として美浜町内全域に対して行う。
この街頭宣伝は、美浜町を3つのブロックに分けて3班で実施する。</p> <p>(2)新聞折込チラシ配布…6月14日(月)到老朽原発の避難問題と危険性(B4チラシ)について訴えるビラを新聞折込。</p> <p>(3)アンケートセットポスティング…19日(土)と20日(日)を基準日として、美浜町全戸配布を目標にしてアンケートセットのポスティングを一斉に行う。なお、このポスティング対象数は3,300世帯あるが、その内3,000枚のポスティングを行う。
このポスティングは、美浜町を3つのブロックに分けて3班で実施する。</p> | <p>(4)福井県知事に対して、美浜3号機再稼働同意撤回を求める署名
・この署名は、福井県内のみならず、全国の皆さんにもお願いする。
・FAXや手紙などで知事室に直接送ってもらうことを基本とする。
・組織として集約するときは、各団体が集め、最終的にはオール福井反原発連絡会の林さんに集結する。
・署名の最終締め切りは、6月21日(月)。
・FAXや手紙を含め事務局に集まった署名は、6月22日に知事に提出。</p> <p>(5)6月23日(水)、関電が美浜原発3号機の再稼働を企図
→美浜町で再稼働反対行動
→大阪地裁に美浜原発仮処分を提訴</p> |
|--|--|

◆老朽原発40年廃炉訴訟市民の会

と き：6月6日（日）13：00～14：00 小雨決行、

ところ：名古屋・栄ラシック前（西側）

◆さよなら原発・ぎふ

(1)街頭シール投票

と き：6月6日（日）14：00～15：00

ところ：名鉄岐阜駅前

(2)さよなら原発パレード in ぎふ（39回目）

と き：6月12日（土）10:30～

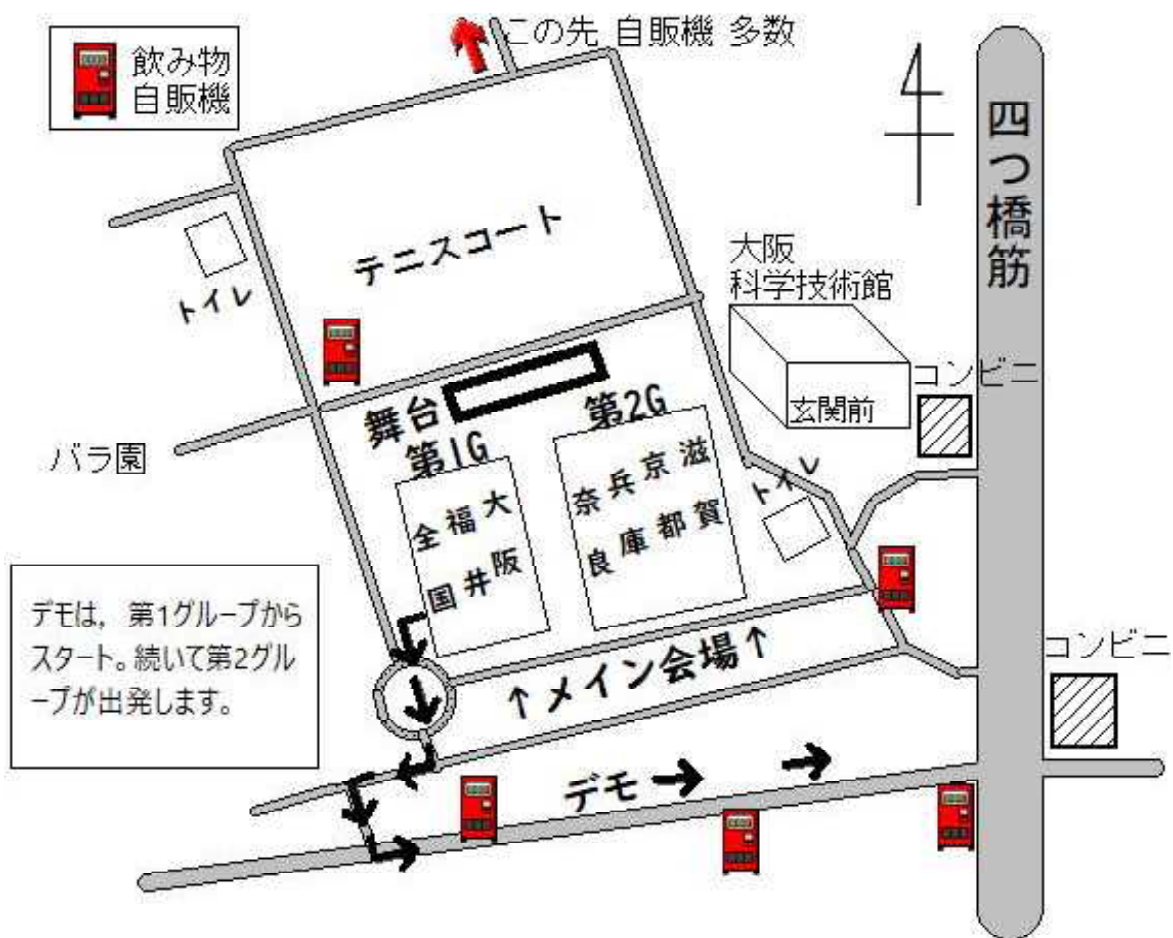
ところ：清水緑地公園に集会、11:00～市内パレード

◆上関原発を建てさせない山口地区連絡会

と き：6月6日（日）12時15分～12時45分

ところ：パルトピアやまぐちの前 付近（山口市神田町、国道9号線沿い）

●会場とデモの案内



●集会アピール（案）

6.6「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」集会決議（案）

－老朽原発・美浜3号機再稼働を阻止し、全ての原発を廃炉に！－

今、関電と政府は、危険極まりない老朽原発・高浜 1、2 号機、美浜 3 号機を再稼働させようとし、原発マネーにしがみついた高浜町、美浜町の議会と町長、福井県知事は再稼働への同意を表明しています。許してはなりません。

この老朽原発再稼働への同意をめぐって関電、立地自治体、政府の演じた「茶番劇」で、蒸気発生器などのトラブル、原発マネー不祥事、使用済み核燃料に関する約束違反を頻発させている関電は、安全確保や使用済み核燃料中間貯蔵候補地提示期限を空約束しています。また、「自治体住民の安全・安寧を保全することが地方自治の基本」であることを忘れた立地自治体は、原発マネー獲得に奔走し、原発関連企業の利益を優先させる政府は、税金によって立地自治体を買収して、老朽原発再稼働を強行しようとしています。

しかし、このような「茶番劇」の直後に、関電は、6 月 9 日に設置期限を迎える特重施設や安全対策工事の遅れのために、高浜 1、2 号機の当面の再稼働が不可能になったと発表しています。特重施設の完成までには 2 年以上を要しますから、再稼働は 2 年以上遅れたこととなります。

圧倒的な民意に後押しされた反原発運動の勝利とも言えます。

一方、関電は、特重施設の設置期限が 10 月 25 日である美浜 3 号機の燃料装荷を終え、6 月 23 日の再稼働を企んでいます。また、政府は、美浜 3 号機再稼働を先例として、全国の原発の 60 年運転への道を開こうとしています。

大きな抵抗も無くこれを許せば、全国の原

発だけでなく、韓国など世界の原発の 40 年超え運転の口実にもされます。あらゆる可能な行動を展開し、何としても美浜 3 号機の再稼働を阻止しなければなりません。

ところで、政府や自治体は、原発重大事故を想定した避難訓練を行っています。それは、原発は重大事故を起こしかねないことを、政府や自治体が認めているからです。避難訓練をしなければならないほど危険な施設は原発だけです。

ただし、政府や自治体を実施している「避難訓練」は、わずかの人数がわずかの期間だけ参加する訓練です。政府や自治体は、原発事故では住民全員が、何年も、何十年も、あるいは永遠に故郷を奪われることをあえて無視して、「避難訓練を行った」とするアリバイ作りをしているのです。

美浜原発から 100 km の圏内には、76 万人が住む福井県のみならず、257 万人が住む京都府、141 万人が住む滋賀県の全域、大阪府、兵庫県、岐阜県の多くの部分が含まれます。美浜原発で重大事故が起こったとき、何 100 万人もが避難対象になりかねません。避難は不可能です。琵琶湖は、美浜原発から 28 ～ 80 km にあり、汚染されれば、1400 万人以上が飲用水を失います。

本日、6.6 おおさか大集会に結集した私たちは、何としても危険極まりない美浜原発 3 号機の再稼働を阻止し、それを突破口に、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現することを決議します。

2021 年 6 月 6 日

「老朽原発うごかすな！

大集会 in おおさか」参加者一同

老朽原発うごかすな！実行委員会

連絡先：木原壮林（電話 090-1965-7102）

コロナ対応のための

連絡票

- ・大阪市公園当局の要請により、お名前と連絡先の記入をお願いします。
- ・主催者で責任をもって保管し、1か月後に廃棄します。
- ・大阪市に提出するものではありません。

* お名前

* 連絡先 (電話番号、メールアドレス、住所のいずれか一つ)

- ・舞台の横に箱を置いています。そこに投函してください。

コロナ対応のための

連絡票

- ・大阪市公園当局の要請により、お名前と連絡先の記入をお願いします。
- ・主催者で責任をもって保管し、1か月後に廃棄します。
- ・大阪市に提出するものではありません。

* お名前

* 連絡先 (電話番号、メールアドレス、住所のいずれか一つ)

- ・舞台の横に箱を置いています。そこに投函してください。